

第 34 回大東市民まつり（まとめ）

1 総括

昨年と比べ、台風 18 号の接近に伴う前夜からの強風雨にもたたられ、天候との我慢比べをした「まつり」であった。幸い午前中は、途中の風雨はあったものの開店可能であり、当協会ブースにも、ゲーム目当ての子供たちを含め、多数の市民、連盟関係者等の来訪者があったが、午後からは風雨も激しく人の往来も少なくなり、閉店としたため、啓発活動は縮小となった。

2 個別事項

- (1) 備品の用意、事前の積み込み、また当日の設置、後片付けなどについては、概ね順調に終了することが出来た。
- (2) 当日大会開催の連盟を除き連盟担当者の出席状況は良く、概ね 2 名以上の応援が得られ、市民に傘をかざしながらの奮闘であった。
- (3) ミニグラウンド・ゴルフのコースを加え、ゲームは昨年度にも増して好評であり、限られた時間内ではあったが午後 1 時ごろに終了した。無料ということが大きな要因でありが、隣のブースは 100 円を徴収（景品もそれに合わせて配布）しているにも拘らず、当協会と同等以上に盛況であり、有料、または募金（収益金は福祉団体への寄付など）も検討していいのではないか。
- (4) 「スポーツカーニバル」の参加啓発が出店の主目的であり、連盟単位では活発な勧誘がはかられ、その目的を達成していると思われるが、結果としては、当日の申し込みはなく、連盟の協力、予算を投入したことへの「費用対効果」が達成されているかを検証する必要がある。

[参考：第 34 回大東市民まつり：収支決算]

○収入の部

(単位：円)

費 目	決 算 額	備 考
体育協会・会計からの繰り入れ	21,119	昨年度：24,326

○支出の部

費 目	決 算 額	備 考
出店テント	7,000	
景品代	6,657	
飲み物代	2,270	お茶、氷、紙コップ含む。
ゲーム作成費	5,192	ミニグラウンド・ゴルフ、射的用具作成一式
合 計	21,119	